

2008年(平成20年) 3月28日 (金曜日)

自己保身する
言い訳は無用



フライを落とした野手は

なぜ空を見上げるのか?

保科充弘著

新刊紹介



慶大時代に準硬式野球
をやり、大手銀行から独

立してM&Aアドバイザー
を生業とする筆者らし
く、野球のプレーとビジ
ネスをミックスした異色
の一冊。人は自己保身の

ために言い訳を考える。

野球でフライを捕り損ねると野手が空を見上げるのは、白球と太陽が重なったからだという言い訳と重なる。

そこで「言い訳で自分の立場やプライドを守っても会社を守ることはできません」とし、意味のない言い訳は無駄と、ばつさり。大人の世界は厳しいことがあらためて分かる。

(幻冬舎ルネッサンス・1365円)